

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス ころこ		
○保護者評価実施期間	令和7年 2月 1日		令和7年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	令和7年 2月 1日		令和7年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 1日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子さまに寄り添った支援を行っている。	お子さまの状況、状態にあわせて活動に参加してもらっている。 日々の打ち合わせや振り返りで、支援内容と療育結果を話し合い、次回の療育に活かしている。 ご家庭や関係機関から情報提供いただき支援に活かしている。	個別課題の時間にお子さまとの面談でその日の状況を把握する。 療育の質を向上するべく、特性にあわせた支援を職員で共有し提供する。 自ら、ご家庭や併用デイ、関係機関から積極的に情報を収集し、お子さまとご家庭のニーズにあった支援を提供していく。
2	保護者様や関係機関からの情報提供やご相談をしっかりと聞きとり、対応している。	面談などで直接お会いすることができない保護者様には、連絡ノート、LINE、メールを活用して、活動内容やその日のご様子をお伝えしている。ご意見を伺っている。 関係機関からもお子さまや保護者様の情報をいただいている。 緊急で重要なことは、即時電話にてお伝えし情報共有に努めている。	引き続き、定期面談、連絡ノートやLINE、メール、電話連絡の他に、保護者様の要望に応じて適時面談や支援会議に参加する。 保護者様の求めに応じた対応を、できる限り迅速に関係機関と協力して行っていく。
3	療育中は様々な活動を提供している。	個別課題活動と集団活動、室内活動と戸外活動、外出行事を組み合わせている。 レクリエーション、制作活動、お誕生会、おやつクッキング等の設定活動と、自由遊びも大切にお子さまの協調性と自主性を尊重している。	例年行っているイベントの他に、新たなイベントも取り入れ、お子さまに様々な経験をしてもらえるよう工夫をして支援の幅を広げていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者様同士が交流できる機会が少ない。	現在、保護者様参加のイベントは、親子参加のお祭りイベントのみである。 保護者様のご利用目的や交流に対する思いが様々であり、保護者様同士の交流できる機会が必要かどうかを精査する必要がある。	個人情報に十分配慮しながら、保護者様同士の連携ができる場の設定について、保護者様の求めに応じて前向きに検討いたします。
2	地域住民を招待する機会が少ない。	現在、イベントは職員とお子さまによる、室内イベントか外出イベントがメインである。近隣住民を招待する機会はない。 事業所とご利用者の事情をご理解いただいた上で、個人情報に配慮し、外部講師やボランティアによるイベントは行っていた。 お子さまが通所支援をご利用していることにデリケートな保護者様もいらっしゃるため、個人情報の保護に配慮が必要である。	個人情報に十分配慮しながら、併用事業所や市内事業所間で連携をとり、共同開催行事を企画開催できるように前向きに検討いたします。
3	地域の子どもたちと交流する機会が少ない。	イベント外出時や公園外出時に、地域のお子さまと現地にて交流することはある。 事業所と地域のお子さまそれぞれの活動時間の都合上、交流する機会は少ない。	個人情報に十分配慮しながら、公園や外出先で交流する機会 の他に、保護者様と関係機関に確認を取り、必要に応じて市内事業所や児童クラブ、幼・保・学校との交流も検討いたします。